

# JIA

株式会社 ジャパンインベストメントアドバイザー

< 証券コード: 7172 >

## 2015年12月期上半期連結決算説明資料 (2015年1月～6月)

2015年7月29日



東京都千代田区霞が関三丁目2 - 1  
霞が関コモンゲート西館20階  
<http://www.jia-ltd.com>



## 目次

JIA

株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー

経営理念	P4
会社概要	P5
沿革	P6
事業内容	P7
2015年12月期 上半期 業績ハイライト	P9
2015年12月期 上半期 主な事業の状況	P10
2015年12月期 上半期 レビュー	P11
上場効果-知名度並びに信用力の向上	P12
販売ネットワーク(ビジネスマッチング契約先)の拡大	P13
2015年12月期 上半期決算報告	P15~17
2015年12月期 通期業績予想	P19
当社の成長戦略	P21~23
参考情報	P25~26

# ■ ■ ■ 会社概要

---


## 金融を通じ社会に貢献する企業でありつづける

### 経営の基本方針

～経営理念実現のために～

- 私たちは、确实且つスピード感のある継続的な成長を目指し、企業価値の増大を通じ、株主様に貢献します。
- 私たちは、お客様からの支持・信頼を行動の原点とし、当社の提供する金融商品・サービスを通じて、企業、個人の繁栄に貢献するよう努めます。
- 私たちは、ビジネスパートナーの支持・信頼を得て、ともに社会的責任を果たし、成長することを目指します。
- 私たちは、役職員一人ひとりがプロ意識を持ち、持てる力をフルに発揮出来る環境作りに取り組みます。自由闊達、クリエイティブで新しいことにチャレンジすることを重視する組織・企業風土を大切にします。

# 会社概要

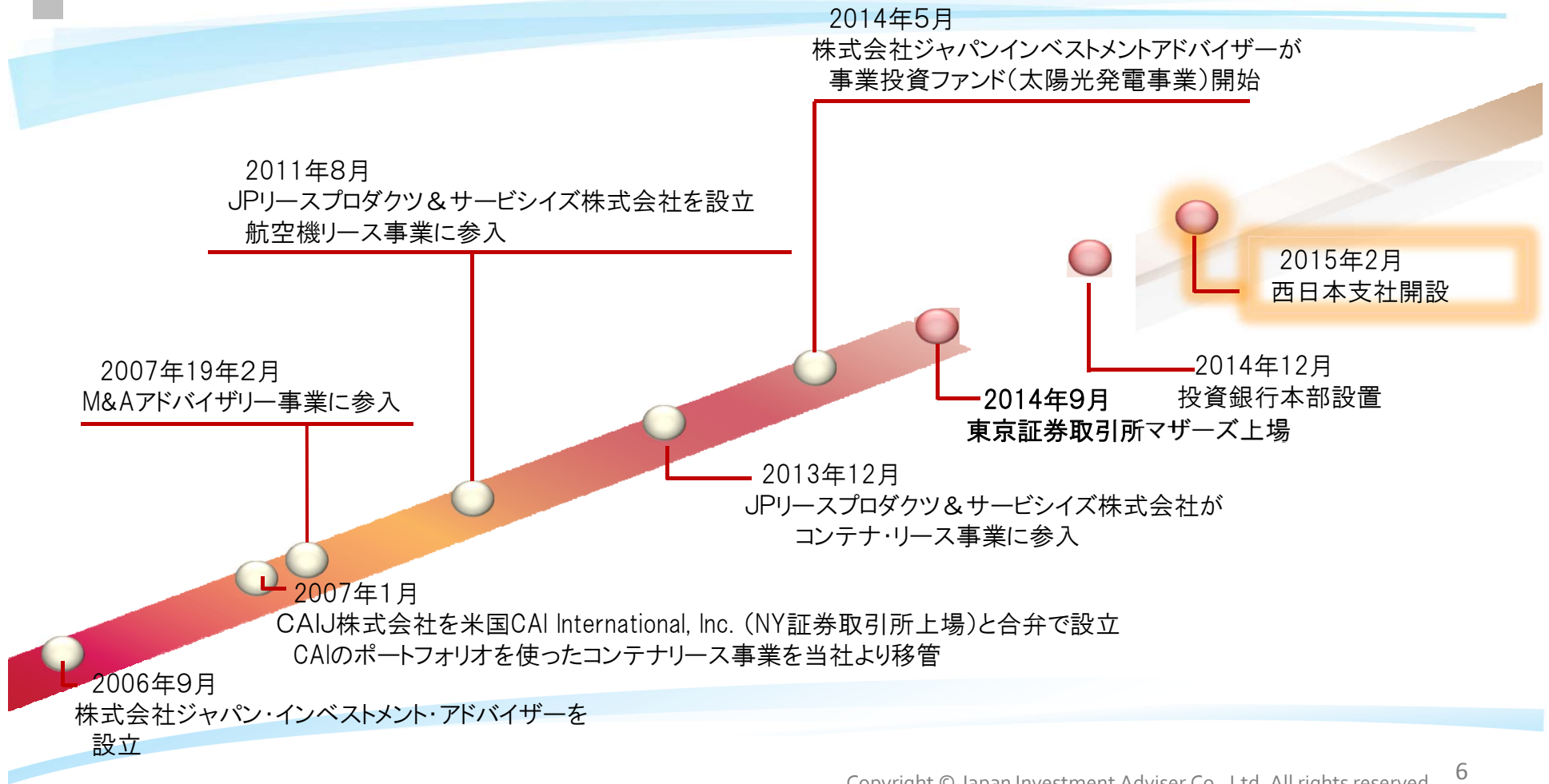
社名	株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー	
本社所在地	東京都千代田区霞が関三丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 20階	
代表者	代表取締役 白岩 直人	
設立	2006年9月(決算月:12月)	
事業内容	金融ソリューション事業	
資本金	377百万円	
上場市場	東京証券取引所 マザーズ市場(証券コード:7172)	
常勤役員数	21名(連結)	
営業拠点	東京本社、西日本支社(大阪)	
取引金融機関	みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、りそな銀行、第四銀行、千葉銀行、三井住友銀行、他17行 ※平成27年6月末現在の上位6行を記載。	
主要株主	白岩直人 (株)こうどうホールディングス りそなキャピタル2号投資事業組合 双日(株) 三菱UFJキャピタル4号投資事業有限責任組合 ※平成27年6月末現在の上位5位(シェア78.4%)を記載	
主なグループ会社	連結子会社: JPIリースプロダクツ&サービスイズ株式会社(オペレーティング・リース事業) 持分法適用会社: CAIJ株式会社(コンテナ・オペレーティング・リース事業)	
監査法人	優成監査法人	



# 沿革

# JIA


株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー



## 事業内容



2015年12月期上半期

 **業績ハイライト**

---



## 2015年12月期上半期 業績ハイライト



### 1 オペレーティング・リース事業及び環境エネルギー事業が好調、組成・出資金販売額が伸張

昨年9月の東証上場により知名度並びに信用力が向上し、資金調達力が大幅に向上いたしました。また、当社の主な顧客(投資家)である中堅・中小企業の収益改善、法人実効税率の段階的引き下げ実施期待等から、全国の顧客(投資家)からの投資意欲は依然として旺盛であり、需要が強く推移した結果、当上半期においては、6件の案件を組成し、9件の案件を販売いたしました。その結果、オペレーティング・リース事業の出資金販売額は、6,736百万円(前年同期比11.2%増)、環境エネルギー事業は、1,665百万円(前年同期比316.3%増)となり、その他事業を含めた売上高は780百万円(前年同期比52.5%増)と伸張しました。

### 2 組成・販売実績

#### 航空機



組成実績：2件  
組成金額：22,293百万円  
販売実績(完売)：4件  
販売金額：4,963百万円

※当第2四半期末における航空機案件の商品在庫は4件(9,874百万円の募集総額)の組成を完了しております。

レッシー(賃借人)が欧米のナショナルフラッグ・キャリアと呼ばれる一流航空会社であることも好評の一因です。

#### コンテナ



組成実績：1件  
組成金額：3,624百万円  
販売実績：2件  
販売金額：1,772百万円

※当第2四半期末におけるコンテナ案件の商品在庫は1件(1,122百万円の募集総額)の組成を完了しております。今後も、新しいレッシーを招聘することにより、積極的に組成を行ってまいります。

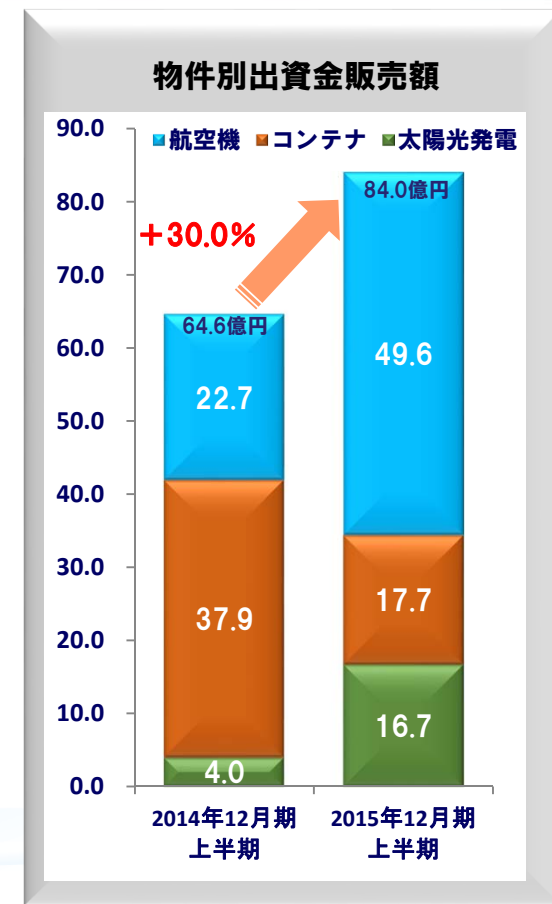
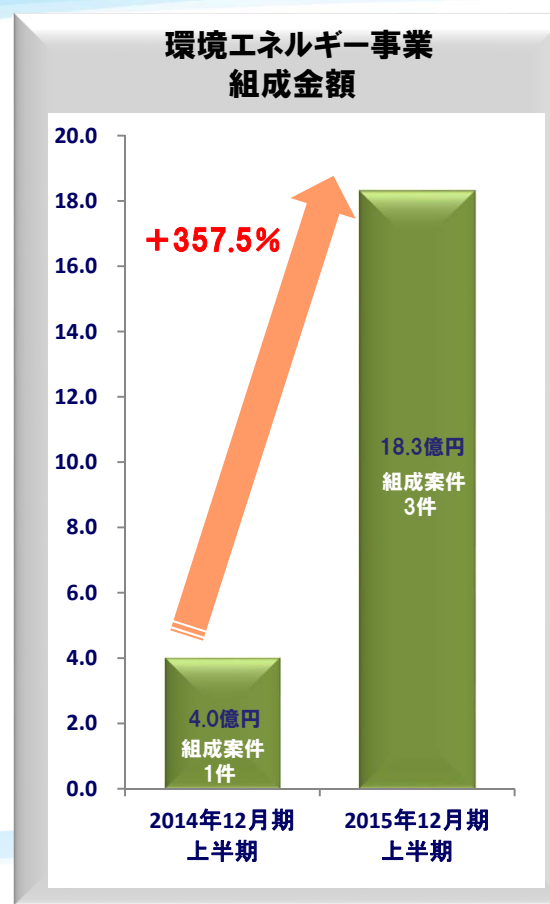
#### 太陽光発電



組成実績：3件  
組成金額：1,825百万円  
販売実績：3件  
販売金額：1,665百万円

※ 為替リスクのない太陽光発電ファンドは投資家のニーズが非常に高く、販売開始短期間で完売しております。今期においては、太陽光発電ファンドの組成を大幅に増加させる所存です。

## 2015年12月期 上半期 主な事業の状況



\* 案件数に関してはSPCの数をカウントしている。

## 2015年12月期上半期 レビュー

### 主なトピックス

1月	初のシンジケート方式コミットメントライン枠30億円設定
2月	西日本支社の開設 所在地:大阪府大阪市中央区北浜三丁目7番12号京阪御堂筋ビル3階
5月	LEシステム株式会社(本社:福岡県久留米市)との資本業務提携発表

#### ◆案件供給体制について

オペレーティング・リース事業における航空機部門並びにコンテナ部門共にレツシーからの引き合いが途絶えることなく、潜在的な案件数は豊富な状態が続いております。

また、環境エネルギーファンド事業においても、潜在的な案件数は豊富にあり、案件の内容を慎重に精査し、成約に結びつけております。

#### ◆販売面について

全国の金融機関や会計事務所並びにコンサルティング会社等と綿密に連携し、全国に広がる投資家にそれぞれのニーズにマッチングした最適な商品を提供し、成約にいたっております。

(→P13「販売ネットワークの拡大」参照)

#### ◆組成の拡大に対応した資金調達力の確保

資金調達枠は52.3億円超まで拡大

## 上場効果-知名度並びに信用力の向上

### 1 新規ビジネスマッチング契約先の増加

当上半期において、税理士・会計事務所13件、地方銀行8行と新たなビジネスマッチング契約締結致しました。累計提携先は税理士・会計事務所80事務所、地方銀行19行、証券会社6社、となりました。



### 2 資金調達力の向上

翌四半期以降に販売予定案件の組成のため、銀行から短期借入を実行し、当第2四半期末の借入残高が11,261百万円となりました。また、資金調達枠は、前年同期末の22.3億円から52.3億円(コミットメントライン融資枠・当座貸越契約等)となり、資金調達力が大幅に向上いたしました。



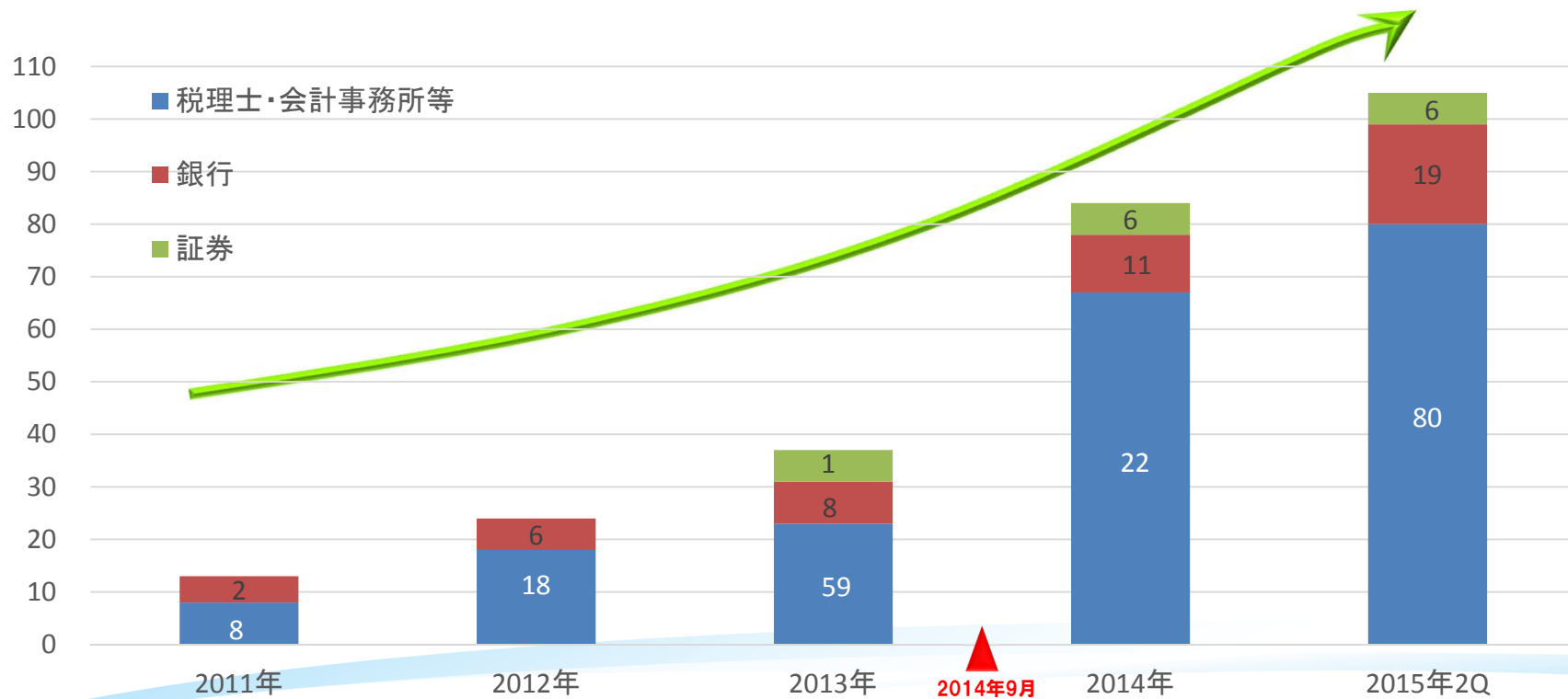
### 5 人材面

営業力強化のため、人員を増員し、常勤役職員は合計21名(前年同期比7名増)となりました。今後も、更なる業容拡大に向けて、優秀な人材を積極的に採用していきたいと考えております。




## ■ 販売ネットワーク (ビジネスマッチング契約先) の拡大

(累計ベース)  
(単位:件)



2014年9月  
東証マザーズ上場

2015年12月期上半期

 決算報告

---

## 会計方針の変更について

### 主旨

#### （会計方針の変更）

従来、営業費用に計上しておりました顧客（投資家）紹介手数料及び案件組成に係る弁護士費用、並びに営業外費用に計上しておりました案件組成に係る金融費用については、売上との直接的な対応関係を明確にするために、当期より、売上原価に計上しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。

この結果、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は、535千円減少しております。なお、一株当たり情報に与える影響は軽微であります。

## 2015年12月期第2四半期 連結貸借対照表 概要

(単位：百万円)

	2014年12月期 (遡及修正後)	2015年12月期 第2四半期	増減額		2014年12月期 (遡及修正後)	2015年12月期 第2四半期	増減額
<b>流動資産</b>	13,874	12,554	△1,319	<b>流動負債</b>	12,737	11,080	△1,657
現預金	1,276	1,054	△222	業務未払金	28	26※③	△2
売掛金	174	341※①	167	短期借入金等	12,245	10.861	△1,384
商品出資金	11,274	9,890	△1,384	未払法人税等	154	99	△55
未成業務支出金	47	123	75	その他	308	91	△217
立替金	900	829※②	△71	<b>固定負債</b>	-	400	400
その他	201	315	114	<b>負債合計</b>	12,737	11,480	△1,257
<b>固定資産</b>	230	390	160	<b>株主資本</b>	1,367	1,474	107
有形固定資産	13	63	49	資本金	377	377	-
無形固定資産	1	1	△0	資本剰余金	319	319	-
投資その他	214	326	111	利益剰余金	669	776	107
<b>繰延資産</b>	-	9	9	<b>純資産合計</b>	1,367	1,474	107
<b>資産合計</b>	14,104	12,955	△1,149	<b>負債・純資産合計</b>	14,104	12,955	△1,149

① 航空機4件とコンテナ案件1件の匿名組合出資金を一時的に引き受けております

② 太陽光案件組成のための立替金が主な目的です

③ 匿名組合出資金を一時的に引き受けるためのものです。商品出資金の増加に応じて短期借入金は増加し、商品出資金の販売が進むと短期借入金を適宜返済していくため減少いたします。当第2四半期においては、商品出資金の販売が好調であったため、借入金の返済が進み、短期借入金は、減少いたしました。



## 2015年12月期第2四半期 連結損益計算書 概要

(単位:百万円)

	2014年 上半期(遡及修正後)	2015年 上半期	増減	増減率
売上高	511	780	268	52.5%
売上原価	65	226	160	246.2%
売上総利益	446	554	108	24.3%
販売費及び一般管理費	165	275	109	65.9%
営業利益	280	279	△1	△0.4%
営業外収益	21	70	49	233.3%
営業外費用	26	183	157	603.8%
経常利益	275	166	△109	△39.8%
四半期純利益	168	107	△60	△36.1%

- ① 航空機案件4件、コンテナ案件2件、太陽光案件3件完売しました。
- ② 当期より、従来、営業費用に計上していた顧客紹介手数料及び案件組成に係る弁護士費用並びに営業外費用に計上していた案件組成に係る金融費用については、売上との直接的な対応関係を明確にするために、売上原価に計上しております。

2015年12月期

 通期業績予想

---

# 2015年12月期 業績予想 (2015年7月29日付)

JIA

株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー

## 2015年12月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしました。

(百万円)	2015年12月期 上半期実績	2015年12月期 下半期予想	2014年12月期 (実績)	2015年12月期 (予想)	通期予想 増減額	通期業績 予想 増減率
売上高	780	1,440	1,049	2,221	1,172	111.7%
営業利益	279	765	534	1,045	511	95.7%
経常利益	166	924	681	1,090	409	60.1%
当期(半期)純利益	107	548	423	655	232	54.8%

当社グループの主力事業であるオペレーティング・リース事業及び環境エネルギー事業等において、当該事業の案件組成が順調に進み、商品出資金の販売についても、顧客（投資家）からの強い需要を背景に好調に推移しております。

当期においては、下期に多くの案件を抱えているため、下期に売上が増加する見込みであります。今後の見通しを踏まえ、本年2月12日に公表した通期業績の予想を上記の通り修正いたしました。

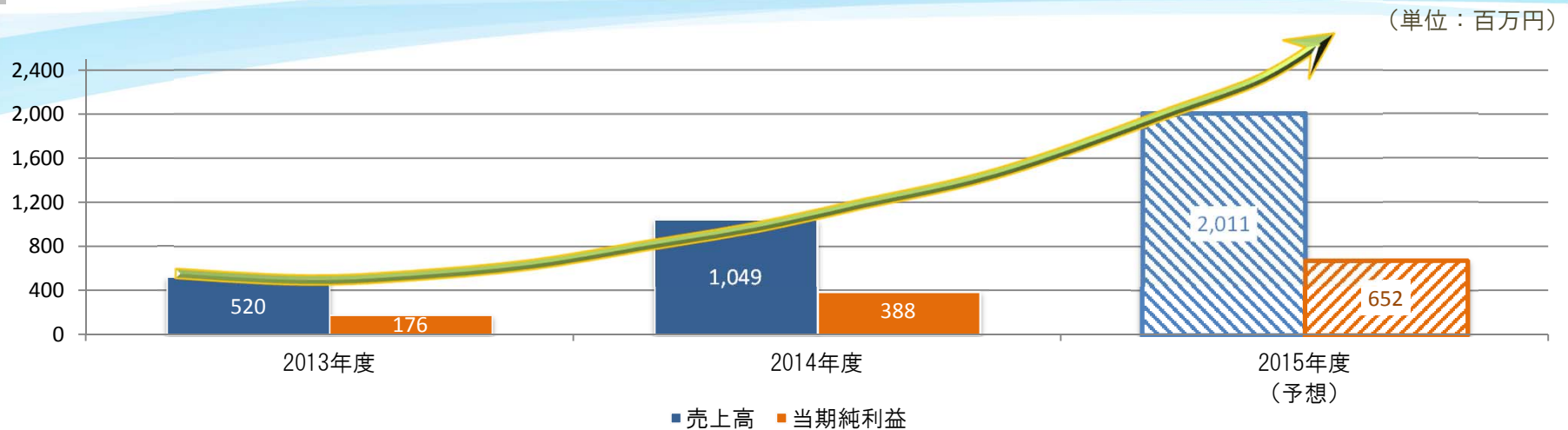
なお、当期において案件組成に係る費用の計上方法を変更し、2014年12月期（実績）の数値は遡及修正後の金額を記載しております。今後の事業の進捗状況を見ながら、更に通期業績予想に変更がある場合には、速やかに開示いたします。

全国に広がる投資家様の強い需要にお応えするため、積極的に案件の組成を計画し、また、太陽光発電事業を中心とした環境エネルギー事業にも注力しております。

# ■ 当社の成長戦略

---

## 当社の成長戦略について



**1<sup>st</sup> Strategy**：商品別シェアの高い航空機オペレーティング・リースにおいて特色があり、競争力の高い商品を出し、規模の拡大を図る

**2<sup>nd</sup> Strategy**：知見があり、参入障壁が比較的高く、物件価値が比較的安定しているコンテナを使ったオペレーティング・リースの商品を提供しラインナップの充実を図る

**3<sup>rd</sup> Strategy**：物件価格のボラティリティーの高い船舶への投資は優先順位を下げ、オペレーティング・リースの代替商品として、現在注目度の高い太陽光発電事業を中心とした環境エネルギー事業を強化していく

**4<sup>th</sup> Strategy**：当社主力商品を必要とする優良中小、中堅企業の顧客基盤を十分に拡充しつつ、M&Aアドバイザー事業、不動産事業、事業承継ファンド等、他の金融ソリューション提供へ繋げる

## 企業価値の増大に向けた成長戦略の推進

オペレーティング・リース事業の継続的強化及び環境エネルギーファンド事業への注力

### 組成面

旺盛な投資家ニーズに対応した案件供給  
新規賃借人の開拓  
安定かつ機動的な資金調達力の確保  
運用型商品の開発

### 販売面

全国の金融機関や会計事務所並びに  
コンサルティング会社等との綿密な連携  
販売ネットワークの拡充

全国に広がる幅広い投資家層ニーズにマッチングした最適な金融商品の提供

→ **純利益ベースで每期50%以上の増益を目指す**

オペレー  
ティング・  
リース事業

環境エネルギー  
ファンド事業

M&A  
アドバイザー  
事業

プライベート  
エクイティ  
投資事業

**取扱商品の拡大**

■ 今後の課題

企業価値の増大


資金調達枠  
の拡大

環境エネルギー事業  
の積極的展開

ビジネス  
マッチング  
契約先の  
拡大

優秀な人材  
の確保

顧客ニーズに  
マッチした  
ソリューションの  
開発と提供



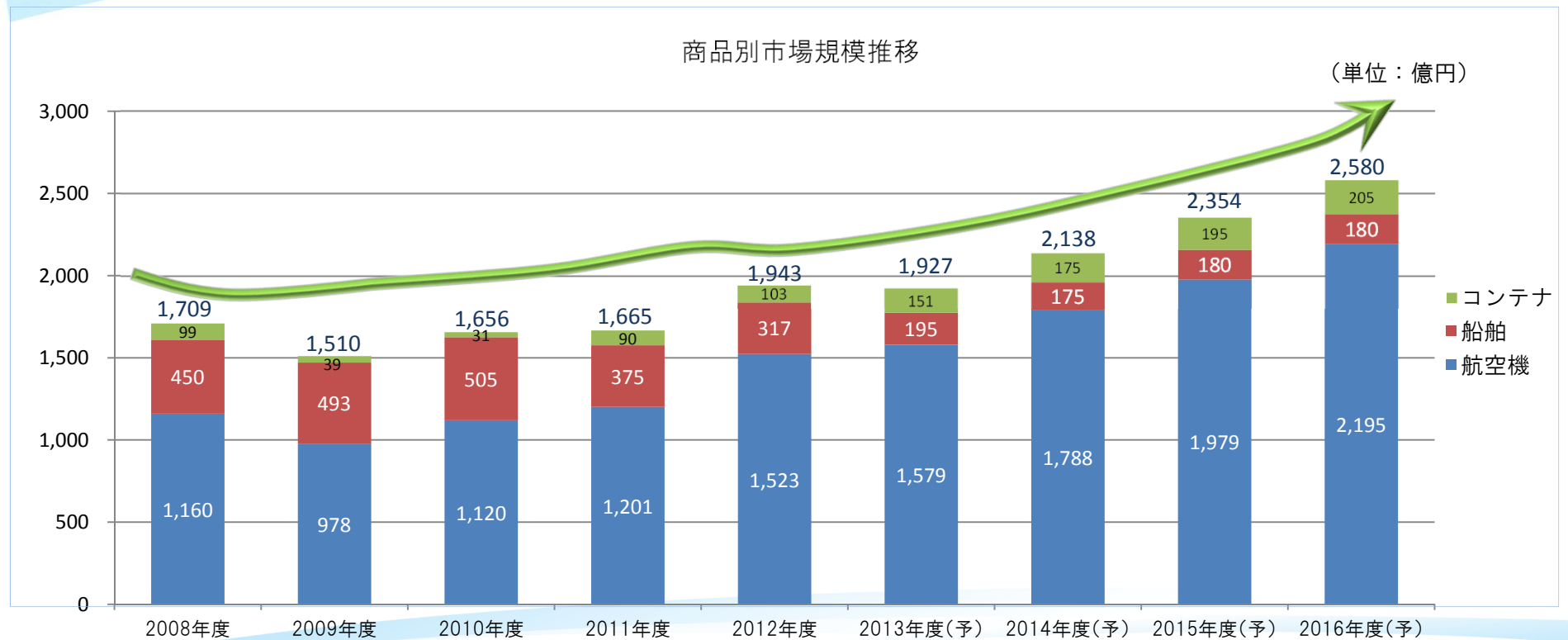
# 参考情報

---



## オペレーティング・リース市場規模の推移

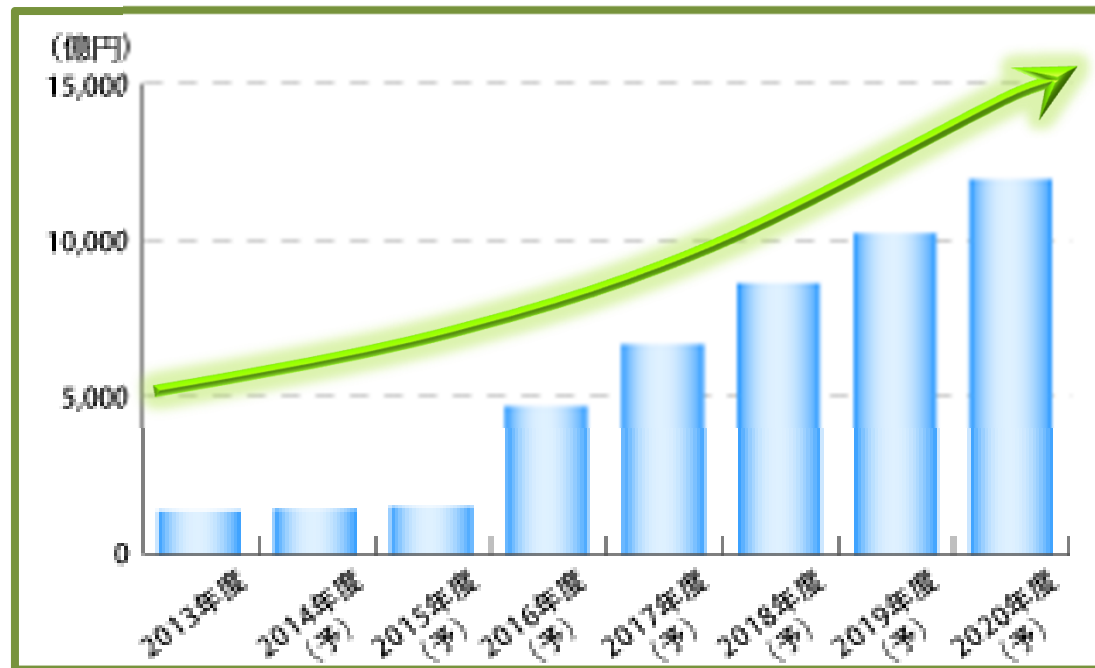
マーケット状況(矢野経済研究所レポートより当社推定)



## ■ グリーン電力市場規模予測

矢野経済研究所レポートより抜粋

グリーン電力市場は、2013年度から2020年度までの年平均成長率が36.6%で推移し、2020年度には、1兆2,000億円規模へと拡大予測



※グリーン電力とは、太陽光発電や地熱、バイオマス等の再生可能エネルギー等による発電電力を指す。グリーン電力は、環境負荷が少ない電力であるため、他の一次エネルギーを利用し発電した電力よりも高い環境価値を持つ。

## 本資料における注意事項等(Disclaimer)

- 本資料に掲載しているIR情報は、株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー（以下、当社）の財務情報、経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。  
また、本資料の情報の掲載は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 本資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。
- 本資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

【IRに関するお問い合わせ先】 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー 広報・IR部  
TEL: 03-6804-6805  
URL: <http://www.jia-ltd.com/>